

明日のくらしと産業

博がやってくる

会場 宇都宮市清原中央公園



▲テーマ館「とちぎ21世紀館」

'84とちぎ博の全体を代表するもので、21世紀への旅だちと題して、明日のくらしと産業を伝えます。

本年七月十二日から九月十七日まで
の六十七日間、宇都宮市清原中央公園
で、「84とちぎ博」が開催されます。
会場の清原中央公園は、日光から約
四十五キロメートル、車で一時間のところ
です。日光から国道一一九号線で宇
都宮へ、そして、宇都宮―水戸を結ぶ
国道一二三号線を利用すると便利です。
約十一万平方メートルの会場には、二十の
パビリオンが立ち並びます。出展者も、

主催者を始め約六十企業、八公社・公
団、百六十組合・団体などで、地方の
博覧会としては最大級です。パビリオ
ンには超立体映像、サーカスロボット、
東北新幹線のシュミレーション、資源
探査衛星ランドサットの模型、パンダ
のはく製などが展示され、また全国の
観光と味めぐりもできます。
今月号では、出展されるパビリオン
のいくつかをご紹介します。

テーマ館「とちぎ21世紀館」

'84とちぎ博の全体
を代表するもので、
テーマの「二十一世
紀へのたびだち、明
日のくらしと産業」
を伝えるものです。
パビリオンは、イ
メージドームを中心
に左右の二棟で構成
します。ドームは映
像、レーザー光線、
特殊照明、立体音響
で未来のイメージを
演出します。

一つの棟には明治、
大正、昭和のくらし
の変遷を炊事用機器や電化製
品、交通・通信の実物展示を
まじえて構成します。

他の棟は二十一世紀を展望
してテクノポリス構想、エレ
クトロニクスシティー、くら
しとコンピュータ、メカト
ロニクスの世界を展開します。

やすらぎランド

日本専売公社が出展するも
ので、博覧会場を歩きまわつ
て疲れた人々に憩いやすらぎ
を与えるパビリオンです。
入口のミラクルドームは、
煙とストロボライト、ブラッ

やすらぎランド

クライト、スカイライターのな
どで不思議な世界を連想させ
ます。

プレイランド

約一万平方メートルの広さの中に、
家族向けのもの、スリルと冒
険を求める若者向けのもの、
子供たちの夢や創造性を育て
るものなど十四種の遊具をそ
ろえます。

この中には、ギネスブック
にも掲載されている高さ七十
メートルの大観覧車もあり、眼下の
ながめをゆつくり楽しむこと
もできます。

